

第8回 五ヶ瀬川水系等浸水被害及び土砂災害軽減対策協議会

1. 概要

令和2年度に実施した各機関の取組内容から先進的に進められている事例を各機関と共有。具体には水害リスクラインやeラーニング教材、土砂災害の危険性を分かりやすく周知するための模型の活用、指定避難所の確保と環境改善、重要施設の移転・防災システムの整備などの検討について報告が行われた。また、アドバイザーから自ら取り組む防災対策の推進や模型の有効性、アプリの活用などがの意見が得られた。

2. 実施状況

- 日 時：令和3年3月25日（木）
- 場 所：各機関とWeb会議
- 出席者：宮崎地方気象台、宮崎県危機管理課・河川課・砂防課、延岡土木事務所、西臼杵支庁、延岡市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、九州電力(株)、宮崎大学、延岡河川国道事務所

3. 議事内容

- 協議会の取組方針に基づく実施状況について
 - 延岡河川国道事務所：水害リスクライン
 - ：タイムライン説明動画
 - 宮崎地方気象台：危険度分布の改善
 - ：eラーニング教材
 - 宮崎県砂防課：マイハザードマップの作成支援
 - 延岡土木事務所：輪中堤・堤防強化・河道掘削
 - ：土砂災害から住民を守るための施設整備
 - ：危機管理型水位計の設置
 - ：洪水浸水想定区域図の見直しと公表
 - ：マイハザードマップ作成講座及び土砂災害防止教室
 - 西臼杵支庁：土砂災害防止教室
 - 延岡市：防災講演会や防災講話、訓練などの
 - 防災・減災のための普及啓発事業
 - ：災害時にあらゆる手段を用いて
 - 情報を伝達するための体制の整備事業
 - ：外国人向け多言語での防災情報提供、
 - 外国人向け防災講話
 - 高千穂町：指定避難所・指定避難場所の確保と環境改善
 - 日之影町：防災マップの作成
 - 五ヶ瀬町：重要施設の移転
 - ：重要施設の移転
 - ：新防災行政情報伝達システムの整備

4. 主な意見・コメント等

- ①自ら取り組む防災対策の推進（流域治水の自助努力）
- ②土砂・洪水災害における防災教育（模型使用による理解促進）
- ③コロナ下での避難所の環境改善（避難所に行きたくなる対策）
- ④アプリの活用（避難所の混雑状況の情報提供、避難所開設準備）
- ⑤ソフト及びハード対策（河道整備等）の継続的な推進



延岡河川国道事務所

延岡土木事務所

延岡河川国道事務所の会場